

出 藍

第7号 (月刊)
平成27年10月20日発行
兵庫県立三木高等学校
第70回生第1学年

～明日から中間考査～

いよいよ明日から中間考査が始まります。70回生が入学して3回目の定期考査になりますが、皆さん十分な勉強時間を確保し、対策ができていますでしょうか？3回目ともなれば、だいたい重要な部分を見極め、要領よく勉強ができていますことと思います。対策した分だけ点を取れているひとも多いでしょう。1年生としての戦いも後半戦に入り、そろそろ自分の勉強スタイルの確立ができています時期です。逆に勉強時間自体が確保できていない人がいたら、危機感を持っていただきたいと思います。下手をすればこのまま十分な勉強ができずに3年生に...と考えると恐怖に襲われます。

勉強時間に対して思ったように成績が伸びない人は、対策の一つとして他の人に勉強法を聞いてみることを勧めます。他人の勉強法を参考にしてみても自分に取り込んでみる、よく考えればこれは部活動と通じるものがあると思います。他人のやり方を真似てみて、自分に合っていれば取り入れればよいし、自分には合わないと思えば他の方法を探す。何より大切なのは、アドバイスを受け入れる“素直な心”とまずやってみる“実行力”だと思います。2つ目に教員に質問に来てください。我々教員は授業の中で皆さんの“？”を解決するように努力していますが、当然完璧に対応し切れているわけではありません。皆さんが理解できないのは教員側にも責任があるわけです。ですから、質問をすることをためらわないでください。「こんなことを聞いて大丈夫だろうか。」と思っている人。大丈夫です！大歓迎です！質問に来てください。皆さんの“分かった！”という声は我々教員の“元気の源”です。

保護者の皆さまに申し上げます。平素より多大なるご協力・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。2学期は進路選択の時期でもあり、中だるみの時期でもあります。生徒が自分と真剣に向き合う中で、精神的に不安定になってしまうこともあるでしょう。生徒が毎日元気に学校へ来ることができるよう、今後ともご家庭からもサポートしていただきますようよろしくお願い申し上げます。



～学年団より～

今回から数回にわたって「失敗から伝えたいこと」というお題で、各先生にメッセージを書いていただきます。我々教員もかつては皆さんと同じ“生徒”・“学生”でした。教員として勉強や生活面において模範となり、生徒の皆さんを指導している立場ではありますが、皆さんと同じように様々な失敗や苦悩、後悔を経験してきています。今回「失敗から伝えたいこと」というお題でメッセージを書かせてもらった意図は、「70回生の皆さんには後悔してほしくない！今を頑張ってもらいたい！」という学年団の先生方の思いをお伝えしたいからです。第7号では3人の先生にメッセージをいただきました。それぞれの先生方の熱いメッセージが皆さんの心に届くと信じています。

「失敗から伝えたいこと」①

1組担任 舟坂 竜哉

高校生から考えて10年以上過ぎましたが、たくさんの失敗、挫折を経験してきました。その中で、僕が一番大きな挫折（失敗）だと思える話をしたと思います。

大学を卒業した後、大学院に進学しましたが、その学校の雰囲気だとかいろいろなことが重なって、院に行くことができなくなる時期がありました。色々悩んだり、落ち込んだりしている中で、自分が最終的にしたいことは何かと考えたときに、僕の夢は決まっていたのでその道の勉強をしたいと自然と答えが出てきました。それからは大学院を、休学し、将来の夢につながる仕事をして、試験に合格してその夢をかなえました。せっかく大学院に進学したのに...とか、もったいない...などいろいろな人に言われましたが、今となってはその時、行動してよかったと思っています。

ここから皆さんに伝えたいことは、「将来はやりたいことをやれ」ということです。将来の夢をもって頑張っている人もいますが、勉強をさぼったために自分のやりたいこと、将来の夢につながる勉強ができなくなるということは、つらいことのように思います。好きでもない仕事をあなたは頑張れますか？自分のしたいこと、やりたいことが最終的に仕事になるように今努力して勉強を頑張ってもらいたいということが、失敗から僕が伝えたいことです。



「失敗から伝えたいこと」②

5組担任 増本 慎太郎

最近の失敗といえば「この原稿依頼を断ることができなかった」というものです。もうすぐ起こしそうな失敗は「この原稿の〆切を守れなさそうだ」というものです。冗談です。

多くの人は「自分の成功」を子どもたちに伝えたくて先生になろうと思うのではないのでしょうか。皆さんのなかにも、そうした理由から学校の先生を目指そうとする人がいるかもしれません。（心から応援します。）ただし僕は「自分の失敗」を生徒に伝えたくて先生になろうと思いました。（もちろん他にも理由はあります。）僕は高校生活の中で、後悔していることがあります。それは、失敗とは少し違うかもしれませんが、「何事も中途半端」だったことです。

高校の頃、何か特別悪いことをした覚えはありません。だからといってすごく立派な生徒、優秀な生徒だったわけでもありません。サッカーにも勉強にも「一生懸命」取り組んでいたつもりですが、気分が乗らなかつたり、少しさぼってしまつたりしたこともあります。そんな過去を今とても後悔しています。幸い大学のころに、その過去を取り戻したくてアメリカンフットボール部に入り、勉強では歴史学に。「もう一度大学生活をやれ」と言われれば絶対に嫌ですが、（それほど地獄でした。）それでも今、三木高校で地理歴史・公民を教えていて、アメリカンフットボール部の顧問をしています。

少し自分語りが過ぎましたが、僕は「中途半端からは何1つ生まれたい」と思っています。世界史・日本史でも歴史を変えてきたのは、いつでも「本気」の人たちでした。僕は、皆さんが中途半端だとは全く思いません。ただこの文章を読んで少しでも、何か心に引っかかった人がいるのならば、1年後、卒業後、10年後、その後、後悔しないようにしてください。（ちなみに「全力出したから一切後悔してないわー」と言うのは止めといたほうがいいです。経験上、後々一番後悔します。）まとまりがなく、拙い日本語で読み辛かったかと思いますが、皆さんの参考になればいいなと思います。

「失敗から伝えたいこと」③

学年付 赤木 智也

僕の失敗はたくさんありますが、皆さんがこれから経験しそうな失敗をお話したいと思います。話は大学入学時に遡ります。大学時代苦学生だったため、自分でアルバイトをして生活費を稼いでいました。仕事内容にも慣れ、毎月まとまった給料をもらえるようになりました。人間まとまったお金が入ってくると無駄に使いたくなってしまふものです。

当時、横浜に友達がいたので、遊びに行くことにしました。そこは夢にまで見た大都会。自

分で稼いだお金を自分の気の済むままに使うのは気分が良いものです。ふと気づくと3日で10万円以上使っていました（学生にとっての10万円は2か月以上暮らせる金額です）。使った金額の内訳を見ると、大して必要でもないものをいくつも買ってあり、自分でも不思議な気分になりました。

そのとき10万円を稼ぐ大変さを知っていたので、反省しました。お金の使い方は個人の自由です。しかし、あとで冷静に考えても納得のいくような使い方をしないとダメだと気付きました。そして同時に、仕送り一つしてくれない親へ抱いていた怒りが消えました。学費を出してもらっているだけでもありがたく思わないといけないと痛感し、責任を持ってできるだけ自分の力で生活しようと決意した瞬間でした。

皆さんはまだ高校生です。お金を親に出してもらって生活しています。働いてお金を稼ぐことはこれから大学生や社会人になればいくらでもできます。今やるべきことは、自分の未来のために投資することではないでしょうか。携帯アプリに何千円も使うくらいなら、英単語帳を買ったり、小説を買ったりして自分に投資すべきではないでしょうか。

数年後、僕は大学院生になり1冊4~5千円する専門書を平気で買っていました。夕飯をどうやって500円以下に抑えようかと考えながら。

～今後の予定～

10月20日	保護者説明会
20日~23日	中間考査
24日(土)	進研模試
11月1日(日)~	完全冬服期間
3日(火)	文化の日
4日, 5日	第2回オープンハイスクール
6日(金)	第2回漢検
8日(日)	第2回英検2次
23日(月)	勤労感謝の日

★完全冬服期間について

11月1日(日)より完全冬服期間に入ります。登下校時でのブレザー着用が義務化されますのでよろしくお願いします。